

潜在断層地震の予測への 活断層研究からのアプローチ

主催 (一社)日本活断層学会

共催 鳥取大学工学部附属地域安全工学センター

平成30年11月24日(土) 14:00~17:00(13:45開場)

とりぎん文化会館 第1会議室

〒680-0017 鳥取市尚徳町 101-5

電話0858-21-8700(代表) <http://site.torikenmin.jp/kenbun/>

事前申込：不要，参加費：無料

問い合わせ先：日本活断層学会2018年度秋季学術大会 E-mail: tottori-af-fm2018@freeml.com

鳥取県を含む中国地域北部には明瞭な活断層は少ないものの、地震活動により地震発生確率が高く評価されており、実際に2016年10月に鳥取県中部、2018年4月に島根県西部で被害地震が発生しています。本年6月に発生した大阪府北部の地震および9月6日発生 of 北海道胆振東部地震も潜在断層の活動と考えられます。このためM6級の地震は全国どこにでも発生し得るとする向きがありますが、本シンポジウムでは、活断層研究の手法および異分野と連携したアプローチから、活断層の明瞭ではない地域の地震想定について議論したいと思います。多数のご参加をお待ちしております。

内容(予定)

14:05 趣旨説明

14:05 測地データに基づく山陰ひずみ集中帯の地震活動と活断層

京都大学防災研究所 准教授 西村卓也

14:30 短い活断層と潜在断層をどう評価するか

—断層成熟度と応力の蓄積・解放・伝播—

東北大学災害科学国際研究所 教授 遠田晋次

14:55 地表に露出する断層と山陰地震帯との関係

島根大学総合理工学部 助教 向吉秀樹

(休憩)

15:40 地表断層地震と潜在断層地震の地震動

鳥取大学大学院工学研究科 教授 香川敬生

16:05 潜在断層地震への活断層研究からのアプローチ

(国研)産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 主任研究員 近藤久雄

16:30 総合討論

17:00 終了

背景図 地震調査研究推進本部(2016)